

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和4年9月28日(水)	確認目的	工事の進捗、安全対策等
確認箇所	5・6号機敷地護岸ヤード		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input type="checkbox"/> 移送設備	<input type="checkbox"/> 希釈設備 <input checked="" type="checkbox"/> その他

ALPS 処理水は、海水で 100 倍以上に希釈して放出するとしている。計画によると、5、6号機取水路開渠を仕切堤にて、1-4号機側から港湾を締め切り、北防波堤透過防止工の一部を改造し、港湾外から海水を取水する。それにより、1-4号機側の港湾内の比較的放射性物質濃度の高い海水の引き込みを抑制できるとしている。

仕切堤設置工事等の状況を確認した。

- ・ 北防波堤には重機等の走行路(砂利+敷鉄板)が整備されており、クレーンやバックホーが配備されていたが、仕切堤構築箇所への捨石投入作業は開始されていなかった。(写真1)
- ・ 仕切堤構築箇所付近には、工事によって巻き上がる海底土が拡散しないよう、汚濁拡散防止フェンスが設置されていた。(写真2)
- ・ 透過防止工に変化は見られなかった。東京電力では、仕切堤構築と並行して取水路開渠内の堆砂撤去を行い、仕切堤設置後は透過防止工の撤去を予定している。(写真3)

確認結果

	
<p>(写真1-2) 北防波堤の概観</p>	<p>(写真1-2) 北防波堤の状況</p>
	
<p>(写真2) 汚濁拡散防止フェンス設置状況</p>	<p>(写真3) 透過防止工の状況</p>